

狭山市教育委員会
教育長 松本 晴夫 様

狭山市立山王小学校
校長 佐藤 潤

平成27年度 狭山市立山王小学校自己評価・学校関係者評価表

評価欄のA～Dについて 評価ポイント×人数÷総数 A：評価ポイント3.5以上 B：評価ポイント3.5未満2.7以上 C：評価ポイント2.7未満2.3以上 D：評価ポイント2.3未満	本年度より、評価者の 基準値を高めました。 評価方法 1 各評価者がa～dをつける。 2 項目ごとに評価ポイントを合計し、評価人数で割る 3 各項目のポイントをもとにA～Dの評価を決める。 a ：9割以上達成されている・・・4点 b ：9割未満 7割以上 達成されている・・・3点 c ： 7割未満5割以上 の達成状況である・・・2点 d ： 5割未満 の達成状況である・・・1点	参考 昨年度までの 基準値 a ：9割以上達成されている・・・4点 b ：9割未満 6割以上 達成されている・・・3点 c ：6割未満 3割以上 の達成状況である・・・2点 d ： 3割未満 の達成状況である・・・1点
--	---	--

評価項目	No.	質問項目	自己評価 上段 昨年 下段 本年		学校関係者評価 (学校評議員による評価)	
			評価	自己評価の主な意見	評価	学校関係者の説明等
組織運営・教育課程・教職員	1	学校は、学校教育目標を学年・学級経営に具体化し、計画・実施・評価・行動のサイクルのもと、教育活動を展開している。	昨年 3.1 B	<ul style="list-style-type: none"> 職朝や職員会議で、管理職が提示する目標が明確で具体的であるから、目指す方向性が共有できた。 学期ごとに評価・改善を図っていることがよい。 	B	学校経営計画をしっかりと樹立し、先生たちが同じ方向を向いているのが感じられます。繁忙な毎日続きますが、目標実現に向けて更なる改善をお願いします。
	2	学校は、日課表、週行事、学校行事等を適切に行うとともに、授業時数確保に努めている。	3.0B 本年 3.6 A	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度と比べても適切に時数管理がされている。そのため、保護者アンケートの「学力が身につけている」が91%であった。 年度の行事の予定が、総合的によく考えられていた。 子供の学力向上という視点から学校行事・日課表の改善が図られた。 	A	毎月の行事予定を「山王小だより」で知らせていますが、しっかりとした行事予定が示されていることから適正な計画に基づくものと感じています。
	3	学校は、「美化活動・言語・掲示教育・安全指導・遊具点検」などを通して児童の豊かな環境作りに取り組んでいる。	3.0B 本年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> 栽培委員が四季に合わせたお花をいつも管理しており、とても素晴らしい取り組みだ。 美化・言語・遊具に関しては、委員会やボランティアの方々のご協力のもと整えられている。 狭山市が専門業者による、遊具点検を実施しているのでありがたい。 	B	子供たちが毎日触れている遊具の点検は、重要な作業と考えます。今後も非破壊検査等を実施し安全確保に努めてください。
	4	教職員は互いに連携と協力を努め、共通理解・共通行動をするとともに各々が主体性をもって行動している。	3.2 B 本年 3.5 A	<ul style="list-style-type: none"> 山王小の職員集団は学年、ブロックの枠をこえて担任の悩みをしっかりと聞いて、とても話がしやすい。 子供のことで気になることは、クラス等関係なく、その場での指導を実行している。 職員室の雰囲気がとても良い。やらなければならないことを各々がきちんとこなし、そこに助け合いの精神が更に盛り込まれていた。 職員会議のたびに、気になる児童の報告や連絡がなされ、「子供一人の問題は、担任一人の問題ではない」という意識が共通理解されている。 	A	校長、教頭からの報告からしっかりと連携が図られていると感じています。教職員の情報共有や連携は、最も重要なことと考えています。引き続き、風通しの良い職場づくりに努めてください。
	5	教職員は、課題研修、現職研修に積極的に取り組み、学校課題の解決と指導力の向上を図っている。	3.3B 本年 3.4 B	<ul style="list-style-type: none"> ブロックだけの研究授業の中での授業であっても丁寧に指導案を作成し、次の全体授業研でその反省等が活かされている。 何かあれば報連相のやりとりのもと行動し、学年の枠を超えて教職員間の協働による研修ができた。 	B	
	6	学校は、教職員にとって働きがいのある職場になっている。	新規 3.7 A	<ul style="list-style-type: none"> 校長を中心に教職員同士が信頼して仕事をしている。 楽しく笑顔のある学校でうれしい。 働きがいはあるが、多忙の毎日であると感じる。 小さなことや少しでも関わりのあることなど、その場でも放課後でも対応してくださる職員がたくさんおり、一丸となって様々 	A	山王小学校は、充実感や達成感を持ち、生き生きとした先生が多いと感じます。やりがいを感じている先生に学ぶことは、子供たちにとっても幸せなことと思います。

			<ul style="list-style-type: none"> な事に挑戦しようとする職場である。 学期末に学級事務（成績処理）の時間を意識してとっていただいてありがたい。 忙しいなかであっても、いつも気にかけてもらったり、教えてもらいありがたいかぎりです。 		
--	--	--	---	--	--

確かな学力の育成	7	<p>教職員は、児童一人一人の実態を踏まえ授業の工夫改善に努め、基礎的・基本的内容の定着を図っている。</p>	<p>3.2 B</p> <p>本年 3.2 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 系統的な学習を進めることが、基礎的・基本的学力の定着を図ることに繋がると思います。音読カードの項目確認や漢字ドリル等のメーカー統一など考えていくこともいかがでしょうか。 特に国語の授業では、板書の掲示物を用意し、基本的な事柄から児童が主体的に活動できるグループ作りまでを行い、クラスや児童の実態に合った授業づくりを行っている。 	B	先生方の努力は、A判定で良いかと思います。しかし、未達成の部分もあるのでBとしました。
	8	<p>教職員は、児童の実態に応じた指導法改善に努め、児童一人一人の学力を伸ばしている。</p>	<p>3.3 B</p> <p>本年 3.2 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導の機会や、習熟度別学習などを取り入れている。 宿題等の細かな指導や、少人数指導を行い校内外で児童がわかりやすく、率先して取り組めるように配慮している。 	B	親として、よく頑張っていると感謝しています。
	9	<p>教職員は、「めあて」・「まとめ」等のカードを使い、目標を明確にし、「児童の言葉」でまとめをする授業を行っている。</p>	<p>3.2 B</p> <p>本年 2.8 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の言葉でまとめができていないので、1時間の中でまとめまでできるように、授業を設計できるよう努めたい。 「めあて」と「まとめ」は必ず書きましたが、児童の言葉でのまとめができないことが多かった。 	B	
	10	<p>児童は家庭での学習が習慣化し、自分から進んで学習しようとしている。</p>	<p>2.9 B</p> <p>本年 2.8 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの結果から、学年相応の家庭学習の部分があまり良くなかった。 自主的な学習が進むよう、指導を続けているが、求める課題をクリアできる児童は半分ぐらいである。習慣化していない児童に対するケアが必要。 学校で出した宿題についてはやってくるが、まだ自主的な学習まではできていない。 宿題等の提出物に関しては習慣化されている児童は増えているが、保護者アンケートの結果からすると「進んで学習している」とまでは至っていない。 	C	<p>家庭学習は、家での指導も必要であるが、進んで学習する姿は、保護者アンケートで6割に達していません。</p> <p>半分以上は、親の責任です。宿題はするが、自主的な勉強はなかなかできません。</p>

豊かな人間性の育成	11	<p>児童は、明るいあいさつや返事ができ、やさしい言葉が使える。「くん・さん」の徹底ができている</p>	<p>2.5 B</p> <p>本年 2.5 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6年生がよく挨拶をしてくれます。くん・さんづけの徹底が不十分。 前期よりも声のかけかたを指導しています。 あいさつは、かなりできているが、「優しい言葉」と「くん・さん」の徹底ができていない児童がかなりいる。 	B	あいさつは、よくできていると感じます。子供たちに、あいさつの大切さは十分に伝わっていると思います。小学生であいさつができなくても、中学生になると変わってくる子供も多いと思います。今の結果に係わらず根気よく指導を継続してください。
	12	<p>教職員は、児童の実態を把握し、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめをなくしている。</p>	<p>3.2 B</p> <p>本年 3.4 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常に、「いじめ」「人権」の意識をもたせ、取るべき行動についての話をしている。アンケートの内容についても対応している。 何かあれば学年の枠を超え、学校全体で解決しようとして動きだしている。 保護者アンケート「先生は、子供のことをよく理解し、指導している」項目で、A・Bの評価が97%であった。 	B	いじめ問題に対しては、学校全体での取り組む姿勢が感じられます。早期発見に努めてください。
	13	<p>教職員は、道徳の時間を確保し、授業の工夫改善を進め、豊かな心を育てている。</p>	<p>3.2 B</p> <p>本年 2.9 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 映像なども使い、自分の行動を振り返る時間になっている。 2学期終わりの授業参観の道徳の授業後の取り組み（家庭で話し合う）が良かった。 各クラスで、授業を展開しやすいように「補助教材」は用意され、スムーズに授業ができるようにされている。 	B	道徳は、家庭でも話し合うことが大切かと思います。
	14	<p>児童は時間を守り、学習の約束を守り、規律ある生活をしている。</p>	<p>3.0 B</p> <p>本年 3.0 B</p>	<ul style="list-style-type: none"> 途中忘れがちになってしまうので、繰り返し指導をし、できた時にはほめてあげている。 休み時間に音楽が鳴ると即座に遊んでいることをやめ、授業の開始には準備が整っていて、開始できている。 	B	

			・昨年と比べ、向上している。	
--	--	--	----------------	--

安全・健康・体力の向上	15	教職員は、力の落ちている項目の運動を準備運動に取り入れたり、運動量の確保に努めたりし、体育授業の充実を図っている。	3.1 B 本年 3.0 B	・その都度「種目」にあった予備の運動を児童やクラスの実態にあった内容を取り入れ、わからなければ「相談」を持ちかけ、歩み寄って教職員で意見をだしている。	B	
	16	教職員は、交通安全指導、不審者対応指導を徹底し、事故を未然に防いでいる。	3.4 A 本年 3.2 B	・緊急時には、適切に判断し、児童と共に下校指導した。 ・朝会などの話を生かしながらその都度指導をした。	C	職員の指導は良いのですが、下校時に道路一杯に広がったり後ろを向いて歩く姿が多く見られます。とても危険なので、注意の喚起が必要です。 先生方の努力に感謝しています。 いつも感謝しています。特に、朝夕の登下校時は、先生方の気配りが目立ちます。さやまっこ緊急メールを活用しながら安全管理に努めてください。
	17	教職員は、清掃指導、掃除の見届けをし、児童の心を磨かしている。	3.3 B 本年 3.1 B	・無言清掃を徹底させているところです。掃除に関することでも話すと、周りに波及してしまうので、ジェスチャーでとかアイコンタクトで合図を出そうと話している。	C	「掃除の仕方が分かっていない」のかも知れない。清掃が行き届いていない場所も目につきます。
	18	保護者・学校は、規則正しい生活と児童の健康管理を支援し、バランスのよい心身の発達をめざしている。	3.1 B 本年 3.4 B	・児童のちょっとした体調の変化に対して、連絡をとり対応しているが、ご家庭によっては、都合上早寝が難しかったり、習い事が忙しく、バランスを取るのが難しい家庭がある。	B	

家庭地域との連携	19	学校は、学校公開、学校評議員会議や諸行事の公開、学校関係者評価の実施などを通して開かれた学校づくりに努めている。	3.5A 本年 3.4 B	・40周年記念行事よかったと思いました。役員さん方がとてもがんばってくださり、ありがたいなあと思いました。 ・多くの行事などで学校が開かれていると思うし、家庭や地域も学校に関心を持ち、協力的だと思う。	A	「開校40周年記念行事」では、ボランティアの方の昔遊びなどとても良かった。ボランティアやSSVCの協力は、とても大きいものでありがたいです。
	20	学校は、学校応援団などにより、地域の人材、ボランティアの協力のもと、連携して地域に根ざした教育活動を展開している。	3.1B 本年 3.4 B	・授業の中でゲストティーチャーとして来てもらうなどもできるといいと思います。 ・高学年の「理科支援員」の方々や英語の授業でのSSVCの協力による授業や、学校の花壇の植え替えをご協力いただき、地域に根ざした活動を展開している。	A	
	21	学校は、幼保中との連携を積極的に進め、小1対応問題・中1ギャップの克服などに取り組んでいる。	3.1B 本年 3.3 B	・配慮が必要な就学児童に関しては、一人一人に丁寧に接することができているのではないかと思います。	B	保育所の行事等に校長先生に来ていただきありがたかったです。 中学校の合唱祭に小6を招いたのは良かった。
	22	学校は、学校・学年だより、連絡帳、電話等とおして保護者・地域と連絡を取り合い、ともに児童の教育を推進している。	3.4B 本年 3.6 A	・保護者アンケートの「山王小学校は、保護者・地域と連絡を取り合い、ともに児童の教育を推進している」項目の満足度 A・B が95%であった。 ・児童の様々な事柄に対し、密に連絡をとり早期発見、早い対応を常日頃から心がけている職員が多い。	A	先生方は、保護者や地域の方々に対して、非常に礼儀正しく、丁寧に接していると感じます。繁忙な日々が続きますが、引き続き連携を大切にしてください。